

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年7月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101367
法人名	社会福祉法人
事業所名	グループホームしらゆり
所在地	鹿児島市高麗町21-19 (電話) 099-251-6633
自己評価作成日	令和1年7月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年7月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

3階建ての施設で窓から桜島が見える日当たり、風通しの良い施設です。小中学校の通学路があり、登下校時にはにぎやかな声が聞こえ、入居者様同士が互いに協力や助け合いをしながら生活されています。

季節のイベントや誕生日会等開催し何気ない日常の中にも、思い出が刻まれるように取り組んでおります。

またカラオケや脳トレのプリント、リハビリ体操等個々にできるレクリエーションを行う事で、1日のリズムを作っております。

入居されておられる方々が介護を受けるだけにとどまることなく、できないところを互いに協力し合える関係を大事にしております。

日々さまざまな取り組みを提供しつつ、生きがいや楽しみがある生活を送ることができるように取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市中心部の利便性の良い住宅地に建てられている、3階建ての眺めの良い事業所で、近隣には公園や中学校、専門学校、母体病院や関連施設もあり、母体病院をはじめとしたかかりつけ医とも連携は緊密であり、十分な支援体制が整って利用者や家族からの信頼は厚いものがある。

利用者や家族の思いや意見の把握を大切に考え、家族とは来所時や家族会等で話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見をもらい、家族アンケートも年2回実施している。また、居室には家族にも自由に意見や要望を記入してもらえようノートも置いている。得られた内容を全職員が共有してサービスの質向上に具体的に反映を図っている。

管理者は職員の意見や提案・気付きを業務改善やサービスの質向上に結びつけるため、日頃より話しやすい雰囲気作りに努めている。職員同士の連携も良好で、ケアの現場や毎週の職員会議でもケアに関する意見交換は活発である。

また、各種の記録、特に申し送りノートや利用者ごとの詳細に項目設定された身体状況の一覧表、支援経過記録や介護記録、それらを基に作成される介護計画などは非常に丁寧にわかりやすい表現で記述されている。

広く明るく開放感があるリビングでは、日常的にカラオケや脳トレのドリル、テレビ鑑賞、作品作りがあり、利用者と職員と一緒に楽しんでいる。季節ごとのイベントや誕生会なども開かれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念や指針をネームプレートやリビング・スタッフルームに提示し、定例会時に唱和を行い、ケアに活かしている	事業の理念及び法人全体の基本方針を掲げ、利用者が生きがいや楽しみを感じて暮らせるように日々のケアに努めている。掲示と名札への記載、職員会議とカンファレンス、朝の申し送り時の唱和で意義を振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域行事に参加を心かけている。校区公民館での文化祭に入居者様手作りの作品を出品。地域の防災訓練にも参加を行い、地域の方とのコミュニケーションを図っている	日頃から民生委員や地域の方々とコミュニケーションを積極的に図り、地域の情報などの把握に努めている。町内会にも加入して地域の防災訓練や夏祭り等に参加し、校区公民館の文化祭にも作品を出品している。また、サマーボランティアや中学生の体験学習も受け入れ、利用者はこれらの機会を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の方々・民生委員とのコミュニケーションを心掛け、介護だけでなく相談ができる関係づくりに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度の開催で、民生委員や地域包括・ご家族様に参加をいただき、より良いサービスの向上に努めている。	会議は家族や民生委員、地域包括センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。ホームの現況報告や行事報告、問題点等についての意見交換のほか、感染症対策など、その時々に沿ったテーマで話し合い、委員からの意見や提案をもらって具体的にサービス向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>介護に関する申請の問い合わせ・相談・疑問等を関係者の方々に電話や訪問時に相談を行っている。</p>	<p>市担当者とは電話や訪問で利用者の暮らしぶりやニーズに関する事、各種の手続き上の相談ごとに助言などをもらい、協力関係を築いている。案内される行政主催の研修会や勉強家等にも出席して、意見や情報の交換も積極的に行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月の法人全体での勉強会や定例会での研修を行い、再認識や介護方法の見直しを行っている。また言葉での拘束にならないよう、職員間でも注意をしいえる関係づくりを行っている</p>	<p>言葉による行動制限を始めとする身体拘束や高齢者の権利擁護、虐待防止等に関する勉強会を法人及びホームで実施し、職員の理解を深めケアへの反映を図っている。職員は利用者個々の状況把握に努め、日々職員相互に支援の状況なども確認しながら連携して見守りを行っている。2階及び3回の通路は、モニターを通じての安全確認も可能である。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員研修や定例会での議題にあげ、身体虐待だけでなく言葉での虐待が無いように職員間でお互いに声を掛け合える関係づくりにも努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で勉強を行い、家族会での説明等を行っている。必要に応じて後見制度をとり入れられるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学や入居時に重要事項に沿い項目ごとに説明を行っている。疑問や不安はその都度に、質問をいただき、納得や理解をいただけるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>2階3階に意見箱を設置。家族会で独自のアンケートを無記名でお願いしている。また各居室にノートを準備し、ご意見やご要望を記入いただくようにしている。</p>	<p>利用者には、日常頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時のほか、家族会や行事の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見をもらっている。家族アンケートの実施や居室に意見や要望記入のノートも準備して、内容を申し送りや会議で話し合い、支援への反映を図っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎週に行う定例会やカンファレンス。またその都度に職員の声に耳を傾け、より良い運営になるよう努力している。</p>	<p>管理者は、朝夕の申し送りや職員会議等で職員の意見や気づき、提案などを聞き取り、日常頻繁に声掛けも行き、時には個別面談の場も設けるなど、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。得られた意見や提案を、職場環境や業務の改善、職員のスキルアップ、サービスの質向上などにつなげるように取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>毎月1回行われるグループホーム管理者の定例会や法人内の管理者会議で報告や問題提起等を行い、職場環境の改善や整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の法人勉強会への参加や外部研修への案内をし、スキルアップへつないでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月1回同法人系列のグループホームの管理者間での会議を開催。また他施設の方々・異業種の方との情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様・ご家族様への事前面談等で要望・希望や不安・困りごとをお聞きし、本人様はもとよりご家族様が安心していただけるように、傾聴に努め信頼関係を構築している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に面談・訪問を重ね、ご家族様や本人様の思い・意向をお聞きし、関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様・ご家族様の希望や思いを確認し、民生委員、地域包括や福祉用具・行政に相談を行っている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食材の下ごしらえ・洗濯物たたみテーブル拭き等生活リハビリを個々に応じてできる範囲で行っていただいている。下膳やエプロン装着等入居者様間においても協力し合える関係ができています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の日々の様子を月1回の通信でお知らせし、病院受診や外出・外食の機会をご家族の負担にならない程度にお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友人知人の訪問や外出支援の継続。かかりつけの病院受診等も継続。誕生日やイベント時の外食等大切な場所や人との関係が途切れないように支援している。	入所時の聞き取りや家族の来所時に利用前の情報を把握し、家族の協力のもと馴染みの美容室利用や墓参り、一時帰宅、誕生日やイベント時の外出・外食などを支援している。また、電話や手紙の取り次ぎと共に、家族や友人・知人の来所時にはゆっくりと過ごせるように配慮している。趣味の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の個性を把握し、孤立することなく会話が楽しめたり、生活が互いに助け合えるよう座席の配置に気を配り、互いに関係性ができるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去された方のご家族様を通じお便りや電話にて、これまでの関係性が途切れないように		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様やご家族・関係者の方々より、思いや希望等の情報収集に努め、本人様の思いや希望が見える環境づくりをご家族様の協力を得ながら行っている。	利用者本人や家族から得られた生活歴や暮らしに関する情報を職員は共有し、利用者に加えて家族の意向も大切に考えて日々接している。家族とも相談しながら、本人の暮らしにどのように支援することが最良かを、管理者と職員が十分に意見交換して反映に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの暮らしを本人様やご家族様より情報を得、職員間で共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの徹底や情報の共有を職員間で行い、日々の過ごし方やリズムを整え、心身共に充実した時間を過ごしていただけるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の意見・要望機会がある都度にお伺いし、毎週の職員会議や朝夕の申し送りに時に課題の見直しやケア内容の見直しをしている。	本人・家族の意向や希望、関係者からの情報を基に、職員全員で意見交換して、利用者が本人らしく暮らせることを大切に、わかりやすい介護計画を作成している。支援経過は様式を工夫した一覧表をはじめ、業務日誌や個別記録に詳しく記録され、それらを基に課題やケアの内容が見直され、現状に添うように計画修正が適時行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別記録にケアの記録を記入行い、職員間で確認を行っている。毎週1回の職員会議で情報の共有や確認を行い、支援や介護計画の見直しに活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じ医療処置や病院受診の付添・立会いに対応している。食事においても個々の好みを尊重し、状況に応じて代替えや必要な形態に応じている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	サマーボランティアや学生の研修受け入れを行い、民生委員との意見交換の時間を利用するなど馴染みの地域での暮らしが継続できるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	関連事業所の協力医だけでなく、メンタルクリニック・歯科医又はかかりつけ医の訪問診療等を受け、より適切な医療が受けられるよう支援している。	利用前の受診の経過把握に基づき、本人や家族の希望するかかりつけ医をはじめ、関連の協力医やメンタルクリニック・歯科医の訪問診療及び通院を支援している。それぞれの医師との情報交換もきちんと行い、家族とも来所時や電話、文書を通じて、適切に連絡を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関連事業所の看護師やかかりつけ医との相談・助言をもらいながら心身状況の変化を早期発見ができ、必要な受診や看護が適切に受けられるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に病院関係者に情報提供を行い、安心して治療を受けられるようにしている。またご家族様にも連絡を取り、情報の共有を図るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重要事項にて説明を行い、家族会や面会時に相談の機会を設けている。またプラン見直し時にもその都度確認を行うようにしている。	重度化や終末期のケアについては、入居時に文書を基に、本人やご家族に十分に説明し同意を得ている。本人や家族の思いの変化や、ホームの状況の変化の都度十分に話し合い、医師や看護師とも連携して可能な限りの支援・対応ができるように取り組んでいる。また、重度化や終末期の対応については、看護師による研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	関連事業所の医療機関の協力や研修を行い、事故発生や緊急時対応を全職員が同じレベルで対応できるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災訓練を実施。エレベーター点検も定期的に行っている。災害訓練も実施している。備蓄も行い定期的に賞味期限の確認を行っている。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署と連携して避難訓練・消火訓練を実施している。自然災害対応の自主訓練も年1回行っている。地域住民の協力も得られ、自動通報装置やスプリンクラー、エレベーターなどの設備の設置・点検、避難場所の確保、食料や飲料水等の備蓄もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修や定例会で個人情報・プライバシー保護の勉強を行い、職員間でも互いに注意し合える関係づくりを行っている。プライバシー等にも考慮し希望時には同性の入浴・排泄の介助を行い、声掛けにも配慮を行っている	利用者の人格や感性を尊重し、排泄や入浴介助などの日常ケアに際して、誇りやプライバシー確保に配慮した声掛けや対応を心掛けている。接遇や個人情報保護等に関する研修も充実を図り、各種の個人記録や居室も適切に保護されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員からの押し付けや職員の都合での介助にならないよう2者択一の提示など可能な限り、自己決定・意思決定ができるように配慮を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を考慮し、本人の希望をお聞きしながら居室で休める時間を持てるようにしている。また就寝時間や起床時間も可能な限り希望に添えるよう支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容室の利用で整髪や染毛が自宅にいた時のように行えている。また髭剃りやお化粧の声掛け、着衣も2者択一で本人様が選べるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる限り旬の食材を使用し、入居者様の嗜好品の把握を全職員で情報の共有ができるようにしている。また食材の下ごしらえや下膳のお手伝いをしている。	利用者の好みも献立や味付けに反映させ、とろみやきざみ食等の工夫を行っている。旬の食材を利用し、下ごしらえや下膳などを手伝ってもらっている。クリスマスや誕生会等の特別メニューや季節の行事食のほか、おやつやラッキョウ・梅干し作りなどは利用者と職員が一緒に行い、食への楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量のチェック表を利用し、職員全員が把握しやすいようにしている。一人ひとりの嚥下状態や咀嚼状況を把握し、個々に応じた支援ができるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けや介助を行い清潔保持に努め、希望される方には定期的・必要時訪問の歯科医、又は家族の支援にて受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を利用し、排泄のパターンを全職員が把握しやすいようにしている。時間や本人様の訴えにトイレやポータブルトイレの誘導・介助を行い排泄の自立に向け支援を行っている。	排泄チェック表の活用と見守りや声かけで個々のリズムを把握して、羞恥心や不安の軽減にも十分配慮しながら排泄の自立支援に努めている。職員は利用者個々に合った取り組みの方針を話し合い、ケアプランにも組み込んで支援に活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・食事摂取量のチェック表を利用し、職員全員が把握できるようにしている。メニューや食材、お茶に配慮を行い、薬に頼らない排泄を心かけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の好みや体質に合わせたシャンプーや石鹸の使用。個人個人にて入浴セットを準備している。同性の介助希望の方にも対応している。	利用者の健康状態や安全に配慮しながら、場合によってはシャワー浴や清拭・足浴に変更することの対応を含め、ゆったりと入浴できるように支援している。皮膚の状態観察やバイタルへの配慮のほか、石けんや用具の持ち込みなどを含む本人の好みや習慣は、本人や家族から情報収集して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や生活習慣等を考慮し、希望時にいつでも居室で休めるように支援している。また快適に休めるよう室温にも一人ひとりに注意を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病歴・薬の種類・効能・副作用・服薬方法を全職員が理解・把握できるようにしている。日々バイタル等記録しており、状況の変化があるときは、医療機関との連携をとれるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族に入居者様の思いを伝え、外出・外食の機会を持てるように支援を行い、レクリエーションやレク体操など楽しみのある時間を持ち気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の行事での外出やご家族の協力をいただき外出。またボランティアの方々の来訪時にも協力をいただき、外出の機会を得、気分転換が得られるように支援を行っている	利用者の健康状態や天候を見ながら、近隣の公園での散歩や外気浴などを楽しんでもらっている。また、季節の花見や地域のイベント、家族も参加する年2回の餅つき大会などを含む関連施設の行事等に出かけている。家族の援助のもとでの外出や外食も勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時に本人や家族と金額や保管方法について話し合い、本人の安心や満足が得られるように配慮を行っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけたい方には代理でかけて差し上げ、使用時には席を外すなど配慮を行っている。手紙は代筆・代読を行い、必要時は投函の支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様それぞれの趣味・嗜好を把握し、体調に応じた空調の管理や季節ごとの飾りで居心地の良い空間を作っている。リビングにおられるときは、カラオケや音楽・テレビ鑑賞を楽しんでいただいている。</p>	<p>玄関の広間やリビングなどは、明るく解放感があり、室温や湿度も適切に調整されている。季節感ある花や手作りの作品、それに写真や日本人形などが飾られ、利用者の好みに応じて、カラオケや音楽、テレビなども楽しめるようになっている。仏壇や神棚も置かれ、2階・3階には見守り用のモニターも設置されて安全確保にも配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仏壇や、神棚を置き自宅におられた時のように落ち着いた時間を持てる時間があり、相談や家族との歓談の場として居場所づくりを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前にご家族や本人様との面談を重ね、使い慣れた家具や日用品を用意していただたく。また仏壇や家族写真等を持参いただき、自宅にいた時のように居心地の良い安らげる空間づくりを行っている</p>	<p>居室は広い窓やベランダがあり明るく、ベッド・洗面台・エアコン・防災カーテンが設置されている。利用者が使い慣れた家具や日用品・人形・写真・テレビ等を持ち込んでもらい、落ち着いて居心地よく過ごせるように、家族とも協力しながら環境づくりを工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレに手すりが設置してあり、身体状況に合った補助具を使用し、自立に向けた生活が送れるように工夫している。またできる限り、トイレにての排泄を促し、必要時ポータブルトイレ等も準備している。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない